

菅原小だより



第3号

枚方市立菅原小学校
校長 牧野 好秀



子どもの頃の体験を通して育む力

平素は、菅原小学校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年は、例年に比べて、21日も早く梅雨入りしましたが、ここ数日間、晴れの日が続き、梅雨の中休みの状態となっています。そんな雨の降っていない日には、多くの子どもたちは、グラウンドや中庭で先生たちと一緒にいつも元気に過ごしています。

現在、新型コロナウイルス感染者はやや減少傾向ではありますが、各ご家庭でも感染防止に努め、また子どもたちへもご指導いただいていることと推察いたします。引き続き、よろしくお願いいたします。

さて、国立青少年教育振興機構より、平成30年3月に発表されました「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究」を少し紹介いたします。

国立青少年教育振興機構は、青少年の人間形成で、どの時期にどのような体験をすることが重要になるのかを分析する調査研究を全国の20代から60代の男女各500人、合計5000人を対象に、ウェブアンケート方式で実施されました。

これからの時代、様々な人とかかわりながら、何事にも意欲的に取り組む姿勢をもち、多少の困難や逆境があってもへこたれず前向きに生きていける力をつけた大人を育てていくことが大切である。また、こうした力の源になるのは、自己の存在や価値を肯定的に評価できる自己肯定感だと考える。このような観点から①へこたれない力②意欲③コミュニケーション力④自己肯定感——の4つの資質・能力を『社会を生き抜くために必要な資質・能力』と位置づけて研究が行われました。

へこたれない力 … 困難な状況でもあきらめずがんばろうとする力や物事を前向きにとらえようとする思考

意 欲 … 何事にも進んで取り組もうとする姿勢や向上

コミュニケーション力 … 自分の気持ちをうまく伝えたり、相手の気持ちを理解する力

自己肯定感 … 自分のあり方を積極的に評価でき、自らの価値や存在意義を肯定できる感情



《子どもの頃の体験と社会を生き抜く資質・能力の関係》

調査結果1 … 家庭における「家族行事」、地域における「友達との外遊び」、学校における「委員会活動・部活動」を多くしていた人ほど、社会を生き抜く資質・能力が高い。

調査結果2 … 「お手伝いや家族行事といった体験が多く、家族との愛情や絆を強く感じていた人」や「外遊びを多くし、遊びに熱中していた人」ほど、社会を生き抜く資質・能力が高い。

調査結果3 … 親や先生、近所の人から「褒められた経験」が多かった人は、社会を生き抜く資質・能力が高い。そのうち、「厳しく叱られた経験」が多かった人はより社会を生き抜く資質・能力が高い傾向がみられる。

調査結果4 … 省略

調査結果5 … 子どもの頃、家庭の教育的・経済的条件に恵まれなかった人でも、「親や近所の人に厳しく叱られた経験が少なく、褒められた経験」が多かった人、「家族でスポーツしたり自然の中で遊んだこと」や「友だちと外遊びをしたこと」が多かった人は自己肯定感が高い。等々



学校の様々な活動（委員会活動・係活動・行事等の体験活動）は、学習や日常生活で得た知識や思考を働かせ、実践する大切な場と考えています。児童の皆さんが、学校や日々の生活の中で行う活動を「子どもたちを育てるチャンス」ととらえ、取り組みを進めていきたいと考えています。人との関わりを通して気づき、考え、行動する子どもの育成を図り、また「優しさ」や「思いやり」の心も育んでいきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染状況の中、様々な制限、制約があり、学校におきましても、教育活動の中止や延期、また縮小となり、とても残念に思っております。今後も引き続き、感染防止に努めながら、子どもたちが生き生きと活動していけるよう、家庭及び地域と連携し、教育活動を進めていきたいと考えています。

ご理解、ご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

《 お知らせ 》

(1) 登下校時の菅原校区見守り隊の方々による子どもたちの見守り、安全誘導について

- ・何らかの災害や気象警報等により登校時間や下校時間が急な変更となった場合、通常通りの見守り隊の方々による見守り、安全誘導等が出来ない場合があります。その場合の登校時間や下校時間については、保護者の方へは、学校よりミルメールにて連絡いたします。

(2) 『菅原小学校ブログ』

パソコン・タブレット用

- ・学校での様子について、日々の1場面或いは2場面程度ですが、菅原小ブログにて掲載しております。ご覧いただければ幸いです。

